

2024年11月14日

報道関係者各位

アストラゼネカ株式会社

アストラゼネカ、「PRIDE 指標 2024」で3年連続“ゴールド”認定 および“レインボー”認定を初取得。

誰もが自分らしく働き、能力を十分に発揮できる
“働きがいのある職場”づくりと、医療アクセスの公平性を目指して

アストラゼネカ株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：堀井貴史）は、2024年11月14日、一般社団法人「work with Pride」が策定した LGBTQ+に関する企業・団体等の取り組みの評価指標「PRIDE 指標」において、3年連続で最高評価である「ゴールド」認定を取得しました。また、本年は製薬企業合同啓発アライネットワーク「Pharma for PRIDE」の活動が評価され、初めて「レインボー」認定を取得しました。「レインボー」認定は、自社単独の取り組みでできる範囲を超えて、国・自治体・学術機関・NPO/NGO などの、セクターを超えた協働を推進する企業・団体を評価する評価指標です。



「Pharma for PRIDE」は、各社員が LGBTQ+ に対し正しい知識をもって言動を意識し、誰もが安心して働ける心理的安全性の高い職場・業界を実現することを目的に 2022 年に立ち上がりました。6 月のプライド月間と 12 月の人権週間に社内外に向けた合同勉強会を継続して実施しています。これまでに「LGBTQ+ × ヘルスケアの現状と課題」をテーマとして、医療機関内の制度や医療保険制度、医療従事者の理解不足などにより、LGBTQ+ 当事者が医療へのアクセスが困難な現状を学ぶとともに（[2023 年 6 月](#)）、医療従事者を対象とした勉強会も開催しました（[2023 年 12 月](#)）。さらに、アライネットワークの拡大を目的に、参加者全員で意見交換を行い、理解を深める勉強会も開催しました（[2024 年 6 月](#)）。

アストラゼネカのその他の取り組み例としては、2019 年に[パートナーシップ制度に対応し社内規定を一部変更](#)し、日本国内における婚姻の平等（同性婚法制化）に賛同する企業を募るキャンペーン「[Business for Marriage Equality](#)」への賛同を表明しています。2023 年からは東京レインボープライドに協賛し、社長含む役員や LGBTQ+ などの性的マイノリティを理解・支援する社員（アライ）がパレードに多数参加しています。

加えて、2024 年は ERG（Employee Resource Group: 従業員の有志による社員コミュニティ）による企画・運営でブース出展し多様性のある社会を祝い、様々な自社チャンネルを用いて啓発を行いました。社内ではインクルージョンの更なる理解と浸透に向け、アライと当事者が参加できる社内 SNS グループ「AZJapan LGBTQ+フレンドリー」と、当事者のみが参加可能な社内非公開 SNS グループ「AZJapan Rainbow」を運用し、心理的安全性を確保した環境で自由に意見交換を行える仕組みを構築しています。

アストラゼネカ株式会社の代表取締役社長 堀井貴史は次のように述べています。「インクルーシブな社会実現のために企業に求められる役割が年々大きくなる中で、PRIDE 指標において 3 年連続ゴールド評価、さらに今年はレインボー認定を取得できたことを大変誇らしく思います。『イノベーションを通じて患者さんの人生を変える No1 パイオニア』を目指すアストラゼネカは、その実現のために、社員一人ひとりが安心して、最大限に力を発揮できる環境が欠かせないと考えています。これからも多様性を尊重する企業文化のもと、働きがいのある環境を更に強化するために邁進し、イノベーションを育む組織を構築するとともに、医療アクセスの公平性を実現するため社会に対しても働きかけを続けてまいります」。

サイエンスを通じて革新的な医薬品を提供するアストラゼネカでは、多様なバックグラウンドを持つ社員一人ひとりが自分らしく働き、それぞれの違いを認め合いながらも健全な衝突を許容できる、安心して自分の意見や気持ちを言える心理的安全性の高い職場からこそ、患者さんの人生を変えるイノベーションが生まれると信じています。今後も、多様性を尊重する企業文化の元、誰もが日々成長していくことができる仕組み・環境づくりに力を注いでまいります。

以上

work with Pride について

一般社団法人 work with Pride は、企業などの団体における LGBTQ+ など性的マイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する団体です。年に一回、企業・団体の人事・人権・ダイバーシティ担当者を主な対象に、LGBTQ+ に関するカンファレンスの開催や、『PRIDE 指標』、『レインボー認定』の運用等行なっています。<https://workwithpride.jp/>

PRIDE 指標について

「PRIDE 指標」は、LGBTQ+ など性的マイノリティが働きやすい職場づくりを日本で実現するために work with Pride が 2016 年に策定した日本で初めてとなる LGBTQ+ に関する企業・団体等の取り組みの評価指標です。Policy（行動宣言）、Representation（当事者コミュニティ）、Inspiration（啓発活動）、Development（人事制度・プログラム）、Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）の 5 つの指標で構成されており、各指標内で指定の要件を満たしていれば点数が付与され、点数により、ゴールド、シルバー、ブロンズとして企業・団体が認定されます。

レインボー認定について

LGBTQ+など性的マイノリティが自分らしく働ける職場・社会づくりの実現に向け、自社単独の取り組みでできる範囲を超えて、国・自治体・学術機関・NPO/NGO などの、セクターを超えた協働を推進する企業・団体を評価する評価指標です。

アストラゼネカについて

アストラゼネカは、サイエンス志向のグローバルなバイオ医薬品企業であり、主にオンコロジー領域、希少疾患領域、循環器・腎・代謝疾患、呼吸器・免疫疾患からなるバイオファーマ領域において、医療用医薬品の創薬、開発、製造およびマーケティング・営業活動に従事しています。英国ケンブリッジを本拠地として、当社の革新的な医薬品は 125 カ国以上で販売されており、世界中で多くの患者さんに使用されています。詳細については <https://www.astrazeneca.com/> または、ソーシャルメディア [@AstraZeneca](#) をフォローしてご覧ください。

日本においては、主にオンコロジー、循環器・腎・代謝、呼吸器・免疫疾患およびワクチン・免疫療法を重点領域として患者さんの健康と医療の発展への更なる貢献を果たすべく活動しています。アストラゼネカ株式会社については <https://www.astrazeneca.co.jp/> をご覧ください。アストラゼネカの [Facebook](#)、[Instagram](#)、[YouTube](#) もフォローしてご覧ください。